

元凶5

~Cabecilla~



これまでのあらすじ

マーヤとミネアの姉妹は
育ての親である
錬金術師エドガンのものを離れ
モンバーバフで踊りと踊りの
修行をしていた

ある日マーヤは
義父への弟子入りを
志願する男
バルザックと知り合う

パトロンに捨てられた
憂き晴らしに
バルザックと肉体関係を
もつマーヤ





その後も会ったび
バルザックとの
セックスに
溺れるマーヤ



しかし邪悪な存在に
逸物を進化させられた
バルザックに墮とされ
言われるままに
父の弟子に推薦してしまっ



一方妹のミネアは
バルザックが引き起す
今後の悲劇を予感し
不安から父の一番弟子
オーリンとの肉体関係に
癒しを求める

しかし二人がそれぞれ
内心で愛しているのは
エドガンであった

やるせない想いを抱え
恋人にもならぬまま
快楽を求めて幾度も
繋がりあう二人

マーヤもまた
義父エドガンへの
恋心に苦しみ

劣情のはけ口を
他の男達とのセックスに
求めてきたのだった

そんな中
マーヤがバルザックからの
求婚を拒否した羽朝

バルザックが
義父の研究と命を奪い
姿を消してしまっ

敵討ちの旅に出ることを
決意するマーヤだが

危険な旅を
諦めさせるため
オーリンにミネアを
孕ませてほしいと頼む

その願いを容れ
旅の途中で
今まで避けてきた
膣内射精を
繰り返すオーリン

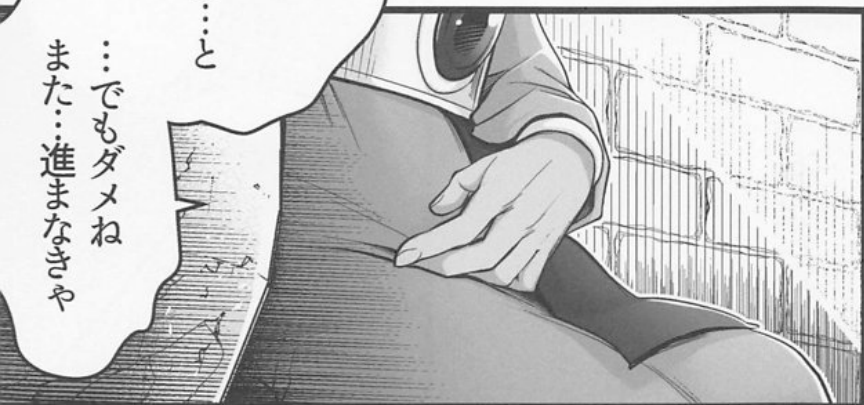
旅の途中で
妊娠することは
理性で拒みつつも

オーリンの不安な心を知り
射精を受け入れるミネア



もし本当に
妊娠してるなら

昨日バルザックを
倒して旅が終われば
おにいちちゃんと一緒に……と
思ってた



……でもダメね
また……進まなきゃ




姉さんには
内緒よ
自分が
頼まなきゃ……って
気に病むから

はい……
はいミネア様

でも……俺は
もう……共に行きません
きつとまた
貴女を抱いて
こんなことを
繰り返してしまふ



その旅路の果て……



…避妊の術してると
回復魔法は
使えなくなるものね…

最後に俺が
きつと…無事に
送り出してさしあげます

お告げ所で予言された
次の旅へと…

「あなたがたが絶望にうちひしがれたその時こそ
あなたがたの旅がはじまるのです」





さっすよ
なまこ
跨って

やったあ♥
ガツツガツツ
突いてよね



ああ…
バルザック
でももう
限界だよ
はやく挿れてっ

おわあ…



マーニヤさんの
淫乱おまんこはもう
すっかりオレの
虜ですね

さつきからずっと
イキっぱなしですよ

だ…だつてえ♥
はああん♥



やっぱ
最高…っっ

カリがっ♥
カリが
ごっごっごっごっ♥
いっちばん奥
こじあける…っ♥

こんなの
他にないっ



しゅ…き

このチンポ
しゅきっ

子宮…直に
ごっごっごっごっ

はああ

すっごい
満たされる…っ♥



あー
射精てる…っ♥

…今更ですが
避妊の術は
大丈夫ですよ

うん…♡昨日
魔法屋でかけて
もらったから

はあ

あー…♡だから
チンポ汁もつと
中にちようだあい

はあ

…そうですか

え…何
マジで言ってるの

あつ深…っ
やだいいっ

じゃあこれを
解除すれば
孕ませ放題ですね

オレと…
一緒になれ
マーニャ

これからずっと
この玉座の間で
飼ってやる

毎日毎晩この
バケモノと
褒めてくれたチンポで
突いてやる

オレ無しでは
生きていけないよう
進化させてやる

あーッ
あたしは……
あたしたちは

そうだ
これは夢
悪夢

だから
オレを憎むな
一生オレを愛せ

そらっ
オレの子を
孕め……!



とぅとぅとぅ...!

いやあああああ!

!ねえさん!

マーニヤヤヤヤ



おさえて...!

声を

! 落ち着いて
ねえさんっ



いやあっ
助けてっ

とぅとぅとぅ

とぅとぅとぅ

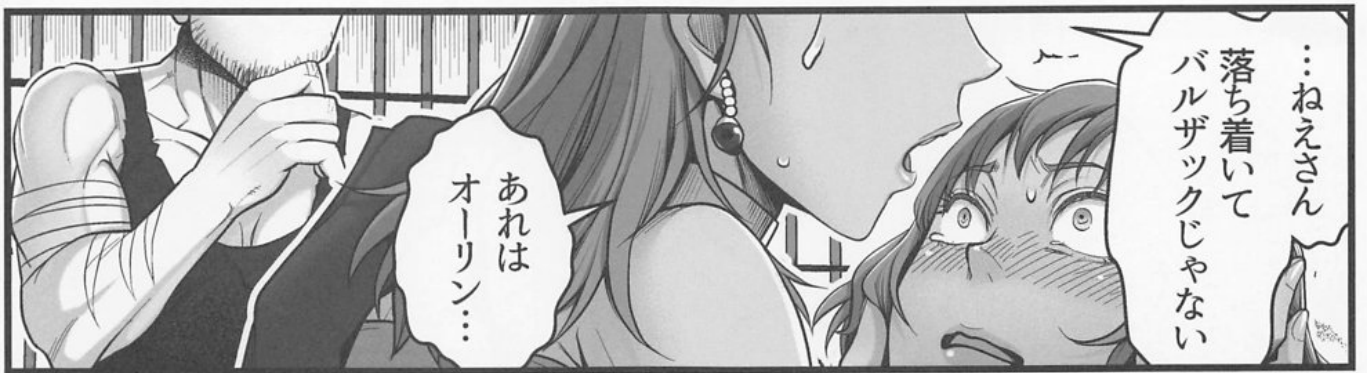
ごめん
ミネアあっ

ごめんなさいっ



さわるなっ!

カッ



…ねえさん
落ち着いて
バルザックじゃない

あれは
オーリン…



…あ…っ

あ…たし…っ

ごめ…
オーリ…





…あたしたち
負けた…んだったね
あいつに…

とうさんの…仇
討てなかった…

ええ…まさか
バルザックが
あんな恐ろしい
変身をするとは…



やつと深手を
負わせたと思つたら
王子様までとは

…そうだ

あたし…
知ってた

バルザックが
どんだん毛深く
どこか獣じみて
いつてるの…っ



あんな…
バケモノに
しちまった…
元凶は
あたしだ

あたしが…
あいつとっ
あいつと寝て…
なのに

あいつのこと…っ
愛してやらなかった

戦ってる時…
なんで愛して
くれなかったって
あいつやけくそで
腕振ってた

でも
あいつ…あいつ
とうさんを
殺し…っ

もう…無理

マーニヤ様…

ごめん…
ごめんよ
そんで…
みんな
ひどい目に

オーリンも…
さつき
はたいたりしてえ

あなたが
元凶だと言うなら
俺だってそうです

まだ幼かった
あなたの心に
大きな穴を
開けてしまった

知って
しまわれたのでしよう
俺がずっと
先生の寵童だったこと
だから唐突に
よそよそしくなって
急いで実家を
出ていかれた…

オーリ…

あなた方姉妹が
それ以前から
先生を男性として
慕っていたのは
気づいてました

申し訳ない

俺がさつさと
先生のもとを
去ればよかつたんです

なのにだらだらと
それから先生と
関係が続けて



儂はもう
王ではない

今の王座は
獅子のバケモノと
自らを化した
息子のもの…

味方もこの
看守ひとりじゃ
だが自ら死を
選ばずおつて
よかった

こうして
そなたら3人を
救うことが
できたのだから

…儂も
もつとあの
バカ息子を
愛してやれば
よかったのかのう

儂はあやつが
王になる日のため
厳しく育てるのが
愛だと思っておつた

しかしそれは
あやつの劣等感を
育てただけだった

人心は…
人の世は難しい…

魔界のものは
そこにつけこむ

結果息子も
バルザックも
自らを魔物と
化してしまった



王様!?

ばばば



周りの者の
心もやはり
後悔から
逃れられん…

全て魔のもの
せいにするのは
容易いが



少し前この辺で
女の悲鳴が

消えた3人も
知れん
探せつ



ばば

逃げよ
3人も

先ほどミネアに
託した乗船券で
港から国外に
逃げるのじゃ



マーニヤ…
ミネア
そなた達には
勇者と共に
世界を救う
使命がある

位を追われる
寸前…儂に
西の祠から
お告げが届いた
そなた達を救い
逃がせよ…!

王様は!?
王様は
逃げないの!?

マーニヤ様
お静かにつ

儂のことはよい

息災でな
二人とも

くじけず…強く
生き抜くのじゃぞ

はい…
はい王様

どうか…
ご健勝で…!

使命…!?

忘れたの姉さん
アツテムトへの途中
お告げ所で
聞いたでしょ

いいですね
お二人とも

ここを出たら
振り向かず
まっすぐ
全力で裏門へ
走りなさい

俺が兵を
ひきつけますから…

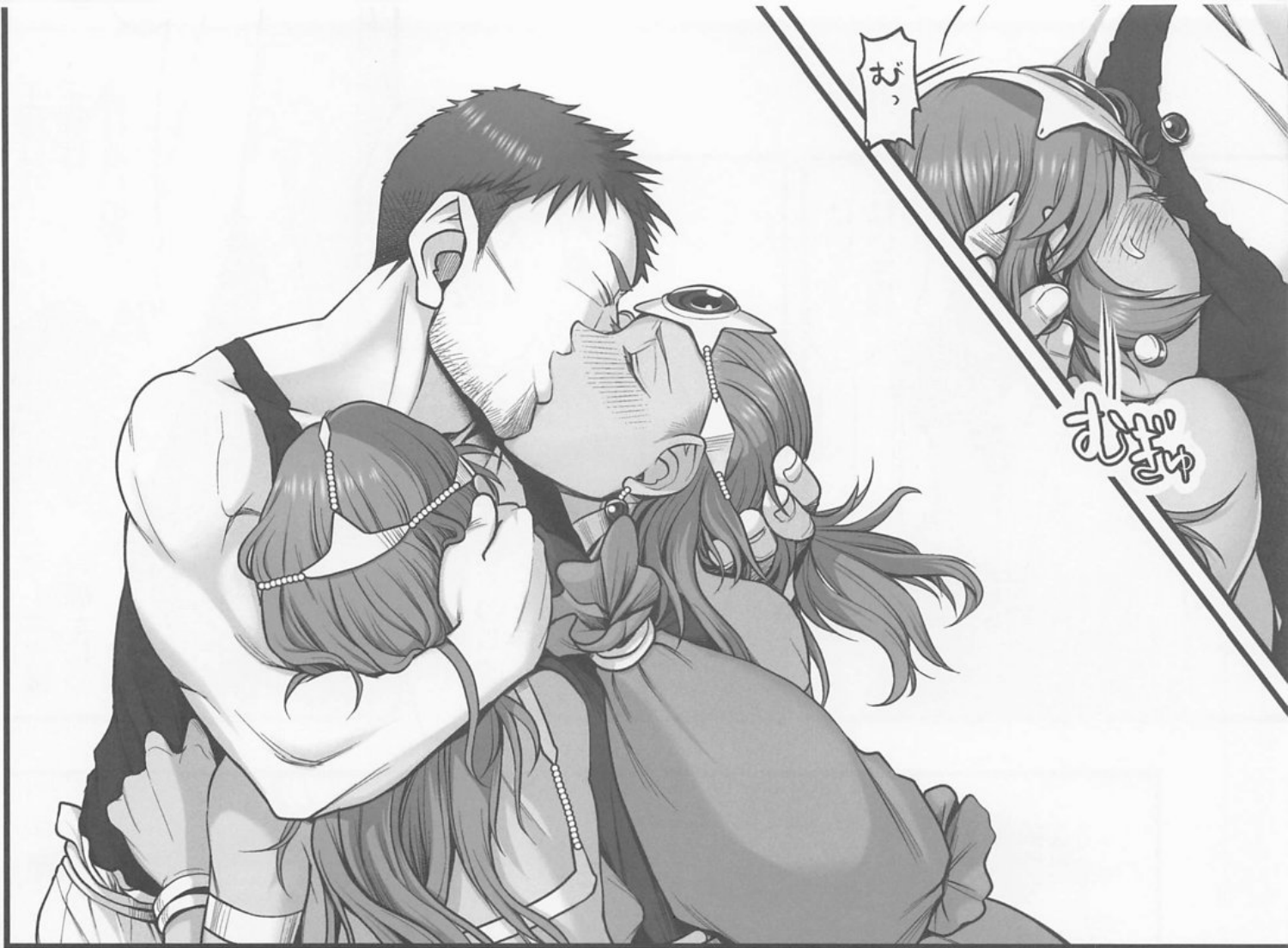
あの
8つの光とかいう
訳わかんないアレ!?

…ええ
オーリン

ゆうべ
話し合った通り
俺がいなくても
ちゃんと船に
乗るのですよ

あんたたち
何言って…!

んなバカなことつ



先生が
あなた方を
拾った日
俺は先生に
誓いました



俺の愛する
妹分たち

ひとまず
お別れです

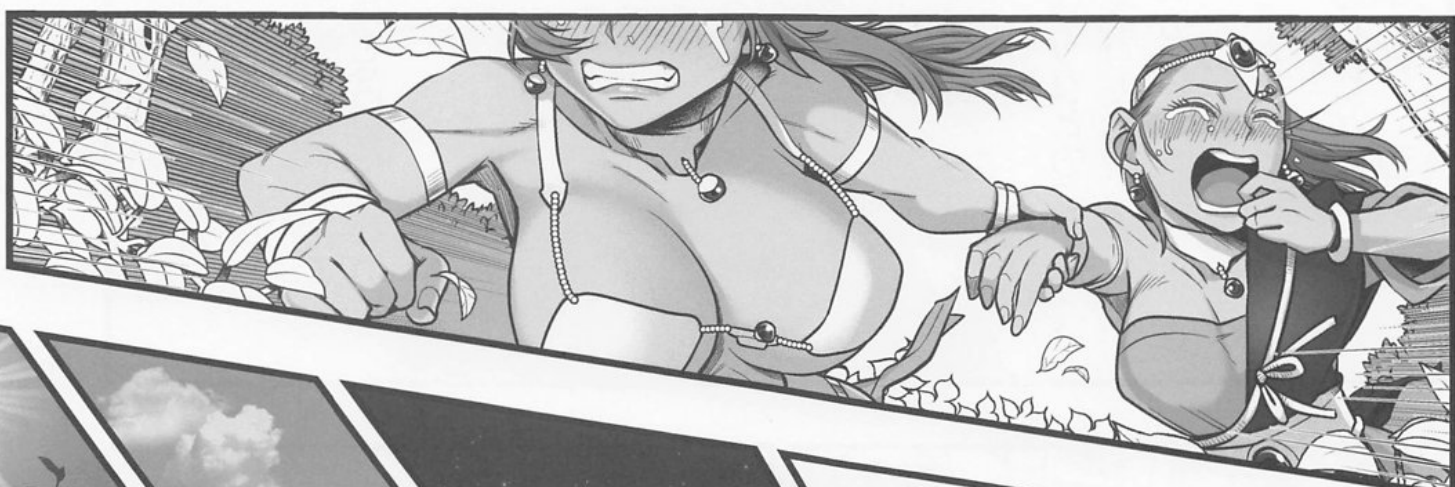
ぎゅっ……



子供じゃないん
ですから
いつまでも
聞き分けないうこと
言わずに
しつかりなさい

「この子たちを
あなたと守り抜く」と

それを今
果たさせて下さい……!





あれから
数か月が過ぎた

あたしたち姉妹は今
エンドールの片隅で
つましく暮らしている



オーリンとの別れのこと
二人とも船に乗ったきり
口にしてない

どこかで生きてるなんて
安い慰めも言いたくないし

船でバルザックのこと
ミネアに詫びたら

一発はたかれて
予感してたのに黙ってた私も
悪かったとか泣かれて

手をつないで泣いて寝て
それっきり



泣き言言ってないで
稼がなくては



さすがにミネアは
それからもしばらく
塞ぎこんでたけれど

何といっても二人
ほぼ文無しで
この国に来たのだ



マーニヤ!
マーニヤ!

あーあーあー

あたしが来る
少し前まで
師匠もこのカジノの舞台で
踊ってたそうだけど

もうどこかへ
行っちゃったって

今のあたしの踊りを
見たなら
何て言うだろう

少しは情念ってものが
出てるだろうか



マーニヤちゃん
今日の踊りも
素晴らしかったよー

あんりがとー♥
今夜もパーツと
盛り上がるーねー♥

あつじいちゃん
南からの船ついた?

だめだねえ
船便自体もう
出てないみたいで

今日もなんの
情報もなしか…

おとうさんの
お弟子さんって
ひとのこと？

でもまだ
諦めたわけじゃない

そー
オーリンと
バルザックっての

どっかで噂聞いたら
おしえてちょーだいよ
すっごく会いたい

世界を救う使命とか
導かれしモノとかは
抜きにしても

あたしはあいつを
歪ませた
元凶ってやつだから
ケリをつけに
行かなきゃいけない

あいつもきつと
それを待ってるだろう

でもあたしたちは弱い
旅の仲間が必要

ミネアの占いで
ここでお会えるってんで
ずっと待ってるのに

ねえさんっ

マーニャ
ミネア

わたしは錬金術師として
自分が納得できるまで
学問を究めたい

おまえたちも
自分の納得できる道を
胸を張って生きておくれ

本当の親兄弟ではないが
私もオーリンも
誰よりそう
願っているよ…

この子が
勇者なんだって
笑っちゃうよね

そっかこの子も
敵討ちかあ

ああ
とうさん
オーリン
バルザック
やっと進めるよ

そら
いつまでも
しよぼくれた顔
してないで

これからは
おねーさんたちも
一緒だ

元気だして
敵討ちに行こうぜ
勇者ちゃん！

どうも、作者の晴永牧兎です。

コロナ禍も挟んだとはいえ完結させるのに時間がかかってしまいましたね。全部読んで下さった方、途中からの方、この話だけという方もありがとうございました。

あらすじを描くために徐々に最初から見返してみましたが、描く手がめっちゃくちゃ遅いせいでまともにペン入れ・トーン入れ・背景入れがすべてちゃんとできて話のほとんどないという…それだけに今回はなんとかきれいに全部原稿的に終わらせることができ良かったです（いつも締め切りでご迷惑かけている山咲さまには、またお待たせしてしまいすみませんでした）

話的には「さすがにそろそろ終わらせるか」と思って、前回のラストで行くと言ってたアツテムトをすっぱしキングレオ城での決戦後から始まることにしたのですがいかがだったでしょうか。1話描き始めた時には先のことはまるで考えてなかったのが各話全くいきあたりばったりだったのですが、自分的には結構うまいこと色々話や動機のピースが絡まった気がして気に入ってるシリーズです。

今になってやっぱアツテムトラヘんのオーリンとミネアとか描きたかったかなとか過去の未完成の部分描きなおしたいよなあとかありますが…。

次もし描くならまた別のDQシリーズや4なら別の章になるんじゃないでしょうか（ちなみに個人的には昔からマーニャさんはライアンとくっつけたい派だったり目とか肩とかいろいろガタがきてますし、マンションSFシリーズも未完結なのでそっち優先だといつになるかわかりませんが、これからもその辺含めお付き合いいただけるととても幸せです。

いつもお世話になってます山咲様、本当にありがとうございます。これからもよろしく願います。

晴永牧兎個人誌 元凶 ~Cabecilla~ 5

2022年8月14日 発行

著者 ■ 晴永牧兎
発行 ■ マダム・プロジェクト
印刷 ■ サンライズパブリケーション（株）



※落丁・乱丁本のお取り替えは御遠慮下さい。
※著者ならびに発行元の許諾無く本誌の一部または全部を転載・複製・インターネット上に公開することを禁じます。
※未成年者の購入は御遠慮下さい。

2022;晴永牧兎 Printed in JAPAN

WARNING:

The producer of this WORK(Book and Do-jinshi) has not permitted following;

- Reproduction of this WORK.
- Making of all of means of copies of this WORK.
- Resale of this WORK.
- Scanning or uploading this WORK on any website (including SNS, P2P, etc.).

The producer of this WORK prohibits sharing the WORK by any website and the resale.

